

様式-3

アスファルト混合物報告書

令和7年 2月 18日

鳥取県県土整備部
技術企画課長 様

製造工場 永瀬産業株式会社
所在地 日野郡日野町本郷1692
工場名 日野工場

配合の設計条件				
配合物の種類	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
密粒度ギャップアスコン	13 mm	2.385 g/cm ³	155 °C	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
4.9 %	71.2 %	8.68 kN	26 l/100cm	
D S 値				
回/mm				
使用材料および配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率	備考
ストレートアスファルト		ENEOS(株)	5.3 %	
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	6.8 %	
碎石	5号 岡山県真庭市神代	(株)マルケイ		
	6号 岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	56.0 %	
	7号 岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	6.3 %	
砂	粗砂 日野郡日南町花口	生山砒業(株)	8.0 %	
	細砂 東伯郡北栄町(北条砂丘)地内	(有)永田商事	18.3 %	
スクリーニングス	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	4.6 %	
再生骨材 13mm	鳥取県米子市大篠津町	永瀬産業(株)		
添加剤() 配合率 %				

※出荷温度目標値		推奨温度範囲
合材混合温度	155 (°C)	±20°C
敷きならし温度	140 (°C)	±20°C
初転圧温度	130 (°C)	±20°C

※到着温度はプラントからの距離、運搬状況、
気象状況により異なるが敷き均し温度より
+10°Cを目標温度とし、範囲的には
目標温度の-10°C以上であることが好ましい。

試験結果一覧表

工 種：密粒度ギャップアスコン

【骨材配合率】

骨 材 名		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC	F			
配 合 率 (%)			56.0	6.3	8.0	18.3	4.6	6.8			

【現場配合率】

ピン N O .	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	F						
配 合 率 (%)		55.9	5.9	31.4	6.8						

【合成粒度】

ふるい目	37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	4.75 mm	2.36 μm	600 μm	300 μm	150 μm	75 μm
粒 度 範 囲	~	~	~	100 ~ 100	95 ~ 100	35 ~ 55	30 ~ 45	20 ~ 40	15 ~ 30	5 ~ 15	4 ~ 10
予 定 粒 度				100.0	98.4	45.0	37.5	30.5	19.7	10.1	7.0
合 成 粒 度				100.0	98.7	45.0	37.5	27.5	19.0	10.5	7.0

【マーシャル試験結果】

・アスファルト量

項 目	単 位	試 験 値	共 通 範 囲
O A C	%	5.3	4.7 ~ 5.9

・試験結果

項 目	単 位	試 験 値	基 準 値
密 度	g/cm ³	2.385	
理論最大密度	g/cm ³	2.508	
空 隙 率	%	4.9	3 ~ 7
骨 材 空 隙 率	%	17.0	—
飽 和 度	%	71.2	65 ~ 85
安 定 度	kN	8.68	4.90 以上
フ ロ ー 値	1/100cm	26	20 ~ 40
残 留 安 定 度	%	89.4	75.0% 以上

備 考

【プラント温度管理】

	目 標 温 度	温 度 管 理	備 考
骨 材 加 熱 温 度	165 °C	—	
アスファルト加熱温度	155 °C	± 15 °C	
合 材 混 合 温 度	155 °C	± 25 °C	

使用材料の物理性状表

		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC					摘 要
ふるい通過重量%	37.5 mm											
	31.5 mm											
	26.5 mm											
	19 mm		100.0									
	13.2 mm		97.2	100.0								
	4.75 mm		2.3	95.2	100.0		100.0					
	2.36 mm			1.8	97.1	100.0	97.1					
	600 μm				42.1	97.2	53.8					
	300 μm				9.8	58.5	31.5					
	150 μm				3.8	12.6	16.6					
	75 μm				0.9	3.0	7.7					
比重	表 乾		2.718	2.696	2.581	2.594	2.648					
	見かけ		2.744	2.726	2.627	2.711	2.708					
吸 水 量 %			0.553	0.653	1.102	2.701	1.358					
すりへり減量 %			12.8	13.0								
安 定 性 %			1.5	0.5								
軟 石 量 %			4.1	0.0								
粘 土 塊 量 %			0.03	0.04								
単位体積重量 kg/1			1.61	1.55	1.68	1.56	1.74					
剥離抵抗性 %			3									

材 料 の 生 産 地

材 料 名		生 産 地	業 者 名	材 質
砕 石				
	5号碎石			
	6号碎石	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
	7号碎石	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
砂	粗砂	鳥取県日野郡日南町花口	生山礦業(株)	加工砂
	細砂	鳥取県東伯郡北栄町(北条砂丘)地内	(有)永田商事	天然砂
	SC	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
石 粉		岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	石灰岩
アスファルト		-	ENEOS(株)	-

予定配合

骨 過 重 材 量 百 分 率 度 (%)	ふるい目	所要骨材粒度範囲	予定粒度
	37.5 mm	～	
	31.5 mm	～	
	26.5 mm	～	
	19 mm	100 ～ 100	100.0
	13.2 mm	95 ～ 100	97.5
	4.75 mm	35 ～ 55	45.0
	2.36 mm	30 ～ 45	37.5
	600 μm	20 ～ 40	30.0
	300 μm	15 ～ 30	22.5
	150 μm	5 ～ 15	10.0
	75 μm	4 ～ 10	7.0

アスファルト量(%)	4.5 ~ 6.5
アスファルト針入度	60 ~ 80
備 考	

骨材ふるい分け及び比重吸水試験

試験年月日: 令和 6 年 12 月 6 日

担当者： 田川 文男

[illegible]

使用予定骨材の合成粒度

		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC	F			
修正配合率 (%)			56.0	6.3	8.0	18.3	4.6	6.8			
37.5 mm											
31.5 mm											
26.5 mm											
19 mm			100.0								
13.2 mm			97.2	100.0							
4.75 mm			2.3	95.2	100.0		100.0				
2.36 mm			0.0	1.8	97.1	100.0	97.1				
600 μm				0.0	42.1	97.2	53.8	100.0			
300 μm					9.8	58.5	31.5	100.0			
150 μm					3.8	12.6	16.6	98.1			
75 μm					0.9	3.0	7.7	88.4			

各 骨 材 別 配 合 比												
		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC	F			合 成 粒 度	予 定 粒 度
37.5 mm												
31.5 mm												
26.5 mm												
19 mm			56.0								100.0	100.0
13.2 mm			54.4	6.3							98.4	97.5
4.75 mm			1.3	6.0	8.0		4.6				45.0	45.0
2.36 mm			0.0	0.1	7.8	18.3	4.5				37.5	37.5
600 μm				0.0	3.4	17.8	2.5	6.8			30.5	30.0
300 μm					0.8	10.7	1.4	6.8			19.7	22.5
150 μm					0.3	2.3	0.8	6.7			10.1	10.0
75 μm					0.1	0.5	0.4	6.0			7.0	7.0

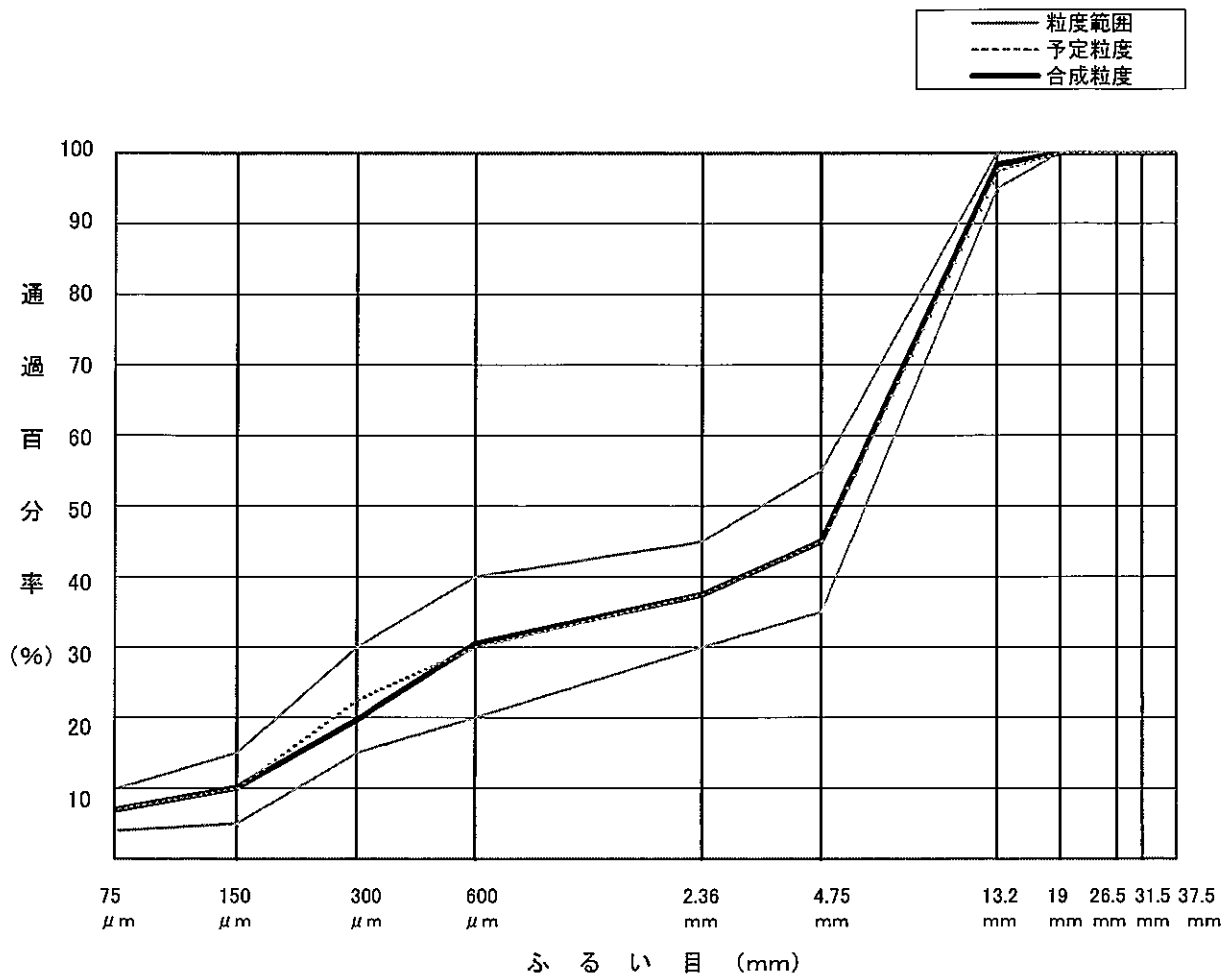
比重補正骨材配合比

												計
骨 材 配 合 (1)												
比 重 (2)												
(1)×(2)												(3)
比重補正骨材 配合比 ※1												

※1 (1)×(2)÷(3)×100

粒度加積曲線図

工 種： 密粒度ギャップアスコン



理論最大密度の計算表

骨材の種類	配合比 %	骨材の比重	係 数
A	B	C	D=B/C
5号碎石			
6号碎石	56.0	2.744	20.408
7号碎石	6.3	2.726	2.311
粗砂	8.0	2.627	3.045
細砂	18.3	2.711	6.750
SC	4.6	2.708	1.699
F	6.8	2.71	2.509
係数の和	K = 36.722		
乾燥骨材の比重	$\frac{100}{K} = 2.723$		

AS混合率%	AS密度				理論最大密度
E	F	$G = \frac{E}{F}$	$H = \frac{K(100-E)}{100}$	$I = G + H$	$J = \frac{100}{I}$
4.5	1.041	4.323	35.070	39.393	2.539
5.0		4.803	34.886	39.689	2.520
5.5		5.283	34.702	39.985	2.501
6.0		5.764	34.519	40.283	2.482
6.5		6.244	34.335	40.579	2.464

備 考

マーシャル安定度試験

成型日: 令和 6 年 12 月 9 日

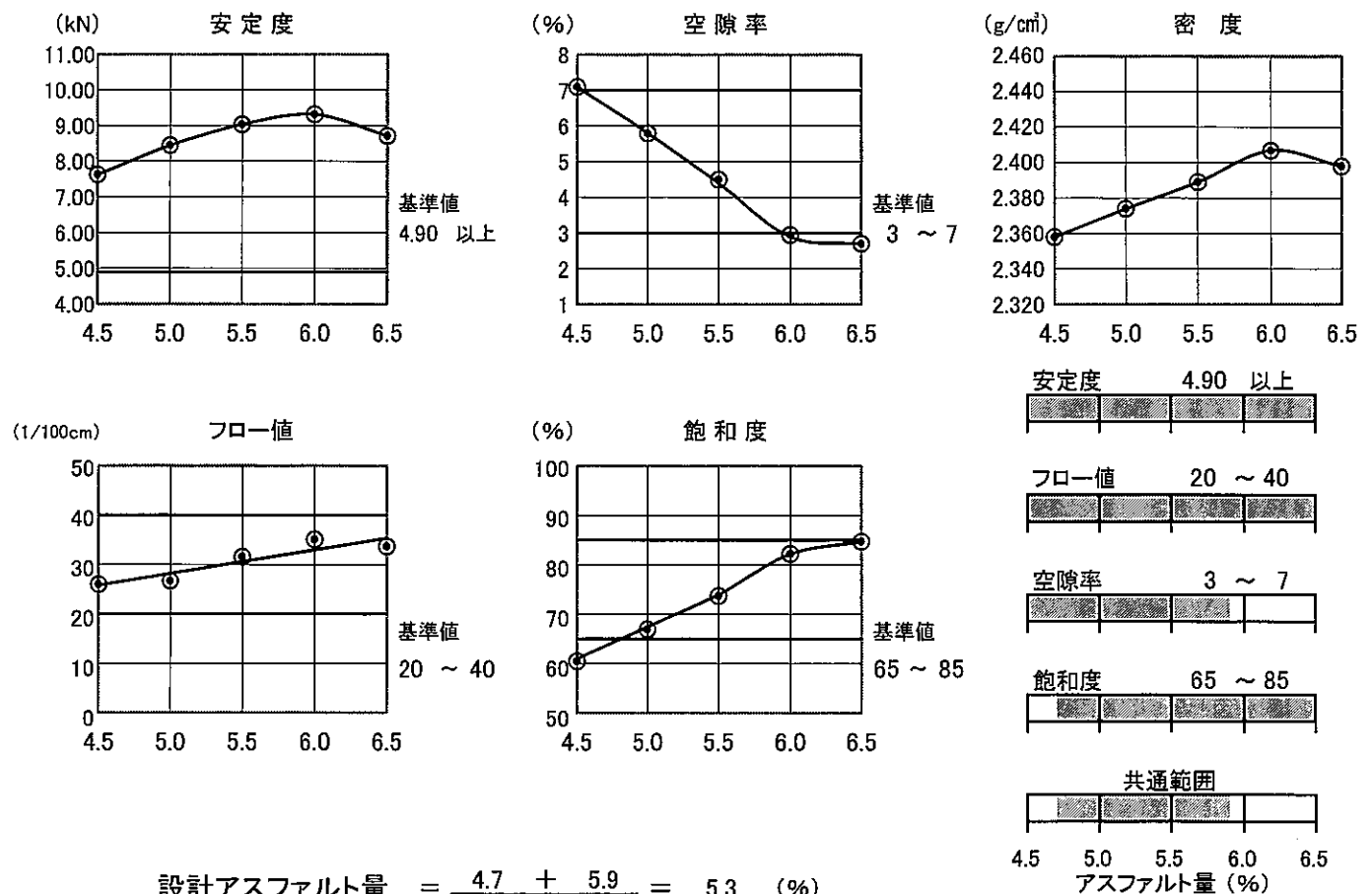
試験日: 令和 6 年 12 月 10 日 測定者: 田川 文男

工 種: 密粒度ギャップアスコン

供試体 NO	AS %	厚さ	重 量			密 度 (g/cm ³)	理 論 最大 密度	AS 容積率 (%)	空隙率 (%)	骨材 空隙率 (%)	飽和度 (%)	安 定 度		フロー値 1/100cm
			空 中	水 中	表 乾							目盛	kN	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
		平均				C/(E-D)		A×F /AS密度	100× (1-F/G)	H + I	100×H/J		L× 0.137	
1	4.5	633	1208.5	698.9	1210.3	2.363						60	8.22	28
2		640	1217.5	702.5	1219.7	2.354					52	7.12	24	
3		635	1211.1	699.7	1213.5	2.357					55	7.54	26	
平 均						2.358	2.539	10.2	7.1	17.3	59.0		7.63	26
4	5.0	626	1206.8	699.8	1207.9	2.375						62	8.49	28
5		640	1227.3	710.9	1228.5	2.371					59	8.08	24	
6		639	1230.8	714.2	1232.0	2.377					64	8.77	27	
平 均						2.374	2.520	11.4	5.8	17.2	66.3		8.45	26
7	5.5	642	1244.2	724.8	1245.0	2.392						66	9.04	33
8		634	1228.8	715.7	1229.6	2.391					69	9.45	34	
9		629	1213.5	705.5	1214.3	2.385					63	8.63	30	
平 均						2.389	2.501	12.6	4.5	17.1	73.7		9.04	32
10	6.0	629	1223.5	716.4	1224.1	2.410						69	9.45	37
11		632	1228.2	718.3	1228.6	2.407					68	9.32	36	
12		643	1248.2	729.9	1248.9	2.405					67	9.18	35	
平 均						2.407	2.482	13.9	3.0	16.9	82.2		9.32	36
13	6.5	638	1238.3	723.1	1238.8	2.401						66	9.04	36
14		628	1214.8	708.4	1215.2	2.397					62	8.49	31	
15		640	1239.0	722.4	1239.3	2.397					63	8.63	32	
平 均						2.398	2.464	15.0	2.7	17.7	84.7		8.72	33

標準マーシャル試験	混合温度	150 °C	締固め回数両面各	50 回	供試体の浸漬時間	30 分
	締固め温度	139 °C	試験時の水温	60 °C	AS密度	1.041 g/cm ³

設計アスファルト量の設定図



骨材ふるい分け及び比重吸水試験（現場配合）

試験年月日： 令和 6 年 12 月 12 日 担当者： 田川 文男

工 種： 密粒度ギャップアスコン

（ビンNO. についての詳細は、後頁『配合表』を参照のこと）

ふるい目	4ビン		3ビン		2ビン		1ビン		F													
	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%
37.5 mm																						
31.5 mm																						
26.5 mm																						
19 mm			0	100.0																		
13.2 mm			93	97.7	0	100.0																
4.75 mm			3821	2.2	111	94.4	0	100.0														
2.36 mm			86	0.0	1824	3.2	30	97.0														
600 μm					65	0.0	311	65.9	-	100.0												
300 μm							269	39.0	-	100.0												
150 μm							269	12.1	-	98.1												
75 μm							89	3.2	-	88.4												
受 皿							32	-	-	-												
合 計			4000		2000		1000		-													
表乾比重				-		-		-		-												
見かけ比重			2.744		2.726		2.689		2.71													
吸水率				-		-		-		-												

備 考

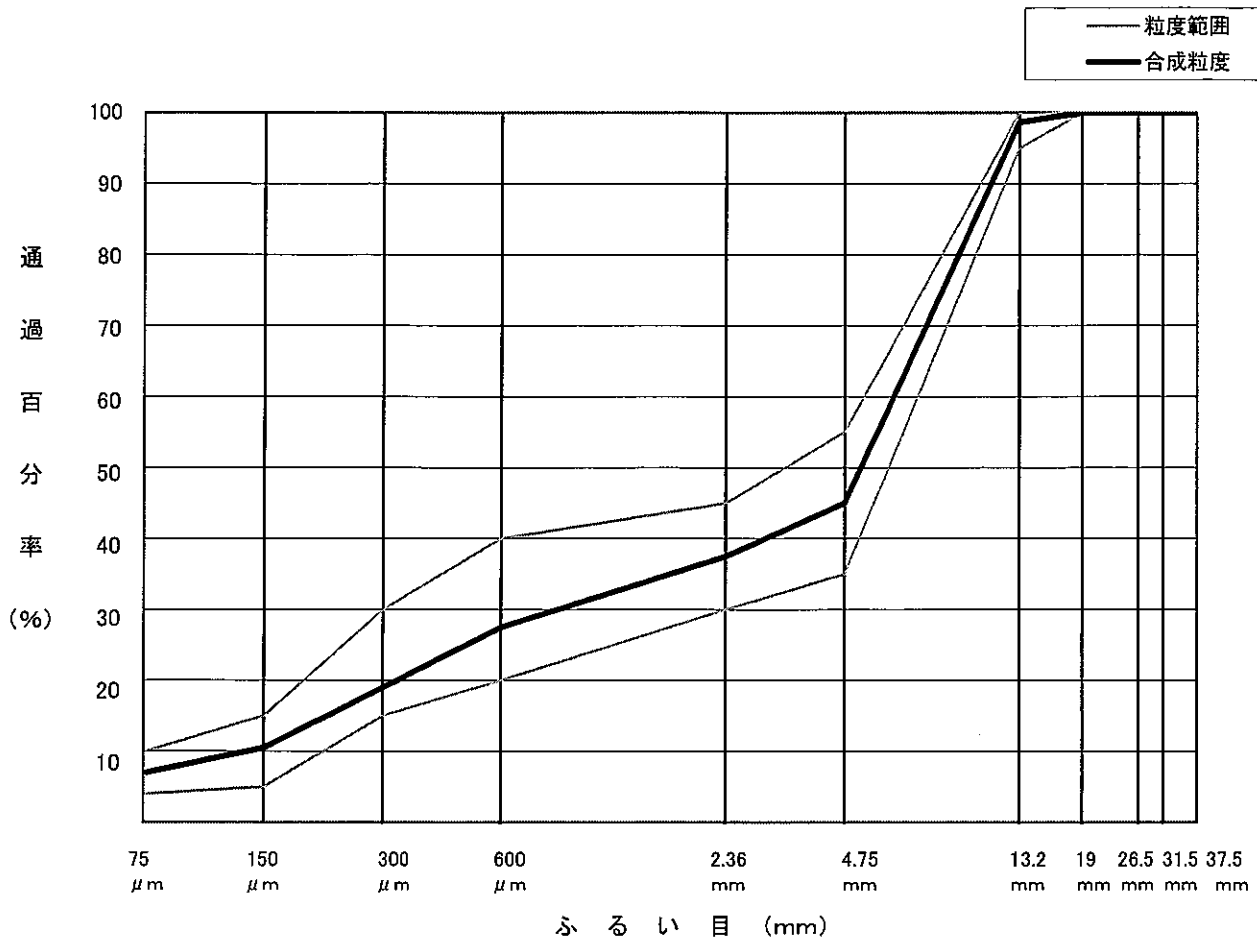
	4ビン	3ビン	2ビン	1ビン	F						
修正配合率 (%)		55.9	5.9	31.4	6.8						
37.5 mm											
31.5 mm											
26.5 mm											
19 mm		100.0									
13.2 mm		97.7	100.0								
4.75 mm		2.2	94.4	100.0							
2.36 mm		0.0	3.2	97.0							
600 μ m			0.0	65.9	100.0						
300 μ m				39.0	100.0						
150 μ m				12.1	98.1						
75 μ m				3.2	88.4						

	各 骨 材 別 配 合 比											
	4ビン	3ビン	2ビン	1ビン	F						合 成 粒 度	予 定 粒 度
37.5 mm												
31.5 mm												
26.5 mm												
19 mm		55.9									100.0	100.0
13.2 mm		54.6	5.9								98.7	98.4
4.75 mm		1.2	5.6	31.4							45.0	45.0
2.36 mm		0.0	0.2	30.5							37.5	37.5
600 μ m			0.0	20.7	6.8						27.5	30.5
300 μ m				12.2	6.8						19.0	19.7
150 μ m				3.8	6.7						10.5	10.1
75 μ m				1.0	6.0						7.0	7.0

備 考

粒度加積曲線図（現場配合）

工 種： 密粒度ギャップアスコン



理論最大密度の計算表（現場配合）

骨材の種類 配合比 %		骨材の比重	係 数
A	B	C	D=B/C
4ピン			
3ピン	55.9	2.744	20.372
2ピン	5.9	2.726	2.164
1ピン	31.4	2.689	11.677
F	6.8	2.71	2.509
係数の和	K =		36.722
乾燥骨材の比重	$\frac{100}{K}$ =		2.723

AS混合率%	AS密度				理論最大密度
E	F	$G = \frac{E}{F}$	$H = \frac{K(100-E)}{100}$	I=G+H	$J = \frac{100}{I}$
5.3	1.041	5.091	34.776	39.867	2.508

備 考

マーシャル安定度試験（現場配合）

工 種： 密粒度ギャップアスコン

成型日： 令和 6 年 12 月 13 日

測定者： 田川 文男

試験日： 令和 6 年 12 月 16 日

供試体 NO	AS %	厚さ	重 量			密 度 (g/cm ³)	理論 最大 密度	AS 容積率 (%)	空隙率 (%)	骨材 空隙率 (%)	飽和度 (%)	安 定 度		フロー値 1/100cm
			空 中	水 中	表 乾							目盛	kN	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
		平均				C/(E-D)		A×F /AS密度	100× (1-F/G)	H + I	100×H/J		L× 0.137	
1	5.3	636	1226.1	714.0	1227.0	2.390						67	9.18	28
2		642	1235.6	718.0	1236.1	2.385					63	8.63	26	
3		632	1214.2	705.2	1215.2	2.381					60	8.22	24	
平 均						2.385	2.508	12.1	4.9	17.0	71.2	a	8.68	26

標準マーシャル試験	混合温度	150 °C	締固め回数両面各	50 回	供試体の浸漬時間	30 分
	締固め温度	139 °C	試験時の水温	60 °C	AS密度	1.041 g/cm ³

試験日： 令和 6 年 12 月 17 日

供試体 NO	AS %	厚さ	重 量			密 度 (g/cm ³)	理論 最大 密度	AS 容積率 (%)	空隙率 (%)	骨材 空隙率 (%)	飽和度 (%)	安 定 度		フロー値 1/100cm
			空 中	水 中	表 乾							目盛	kN	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
		平均				C/(E-D)		A×F /AS密度	100× (1-F/G)	H + I	100×H/J		L× 0.137	
1	5.3	632	1217.2	708.3	1217.8	2.389						59	8.08	27
2		631	1213.4	705.5	1214.0	2.386						55	7.54	26
3		641	1233.3	717.3	1234.2	2.386						56	7.67	27
平 均						2.387	2.508	12.2	4.8	17.0	71.8		b 7.76	27

水浸マーシャル試験	混合温度	150 °C	締固め回数両面各	50 回	供試体の浸漬時間	48 時間
	締固め温度	139 °C	試験時の水温	60 °C	AS密度	1.041 g/cm ³
					残留安定度 b/a×100	89.4 %

配合表（現場配合）

令和 6 年 12 月 17 日

使用材料 (mm)	配合率 (%)	現場指示配合率 (%)	1/バッチ重量 (kg)	累計重量 (kg)	備 考
4ピン (碎石 19 ~ 13.2)					
3ピン (碎石 13.2 ~ 4.75)	55.9	52.94	529.4	529.5	
2ピン (碎石 4.75 ~ 2.36)	5.9	5.59	55.9	585.5	
1ピン (碎石 2.36 ~ 0)	31.4	29.73	297.3	882.5	
石 粉	6.8	6.44	64.4	64.5	
アスファルト	-	5.30	53.0	53.0	
合 計	100.0	100.00	1000		

温度管理目標値

工種：密粒度ギャップアスコン

令和 6 年 12 月 17 日

ストレート アスファルトについて	温 度 範 囲	目 標 温 度
1. 混合温度	使用アスファルトの動粘度 150 ～ 300 センチストークス (セイボルトフロー秒 75 ～ 150 秒)時の温度範囲の 中から選ぶものとし、運搬距離等を考慮して混合温度を設定する。	155 ℃
2. アスファルト加熱温度	上記動粘度範囲より設定する。	155 ℃
3. 骨材加熱温度	混合温度より 10 ℃高くする。	165 ℃
4. 敷きならし温度	110 ℃以上の為	140 ℃
5. 一次転圧温度	110 ℃～ 140 ℃の為	130 ℃
備 考		

プラント基準値

● アスファルト量

アスファルト量 (%)	5.3 %	
-------------	-------	--

● 骨材粒度

ふるい目の開き	通過重量百分率 (%)
37.5 mm	
31.5 mm	
26.5 mm	
19 mm	100.0
13.2 mm	98.7
4.75 mm	45.0
2.36 mm	37.5
600 μ m	27.5
300 μ m	19.0
150 μ m	10.5
75 μ m	7.0

備考

電話

2024年 12月 01日

三菱商事エネルギー株式会社 御中
(写)

試験成績表 (代 表 性 状)

ENEOS株式会社
広域支店業務グループ
マネージャー 岡本 大輔

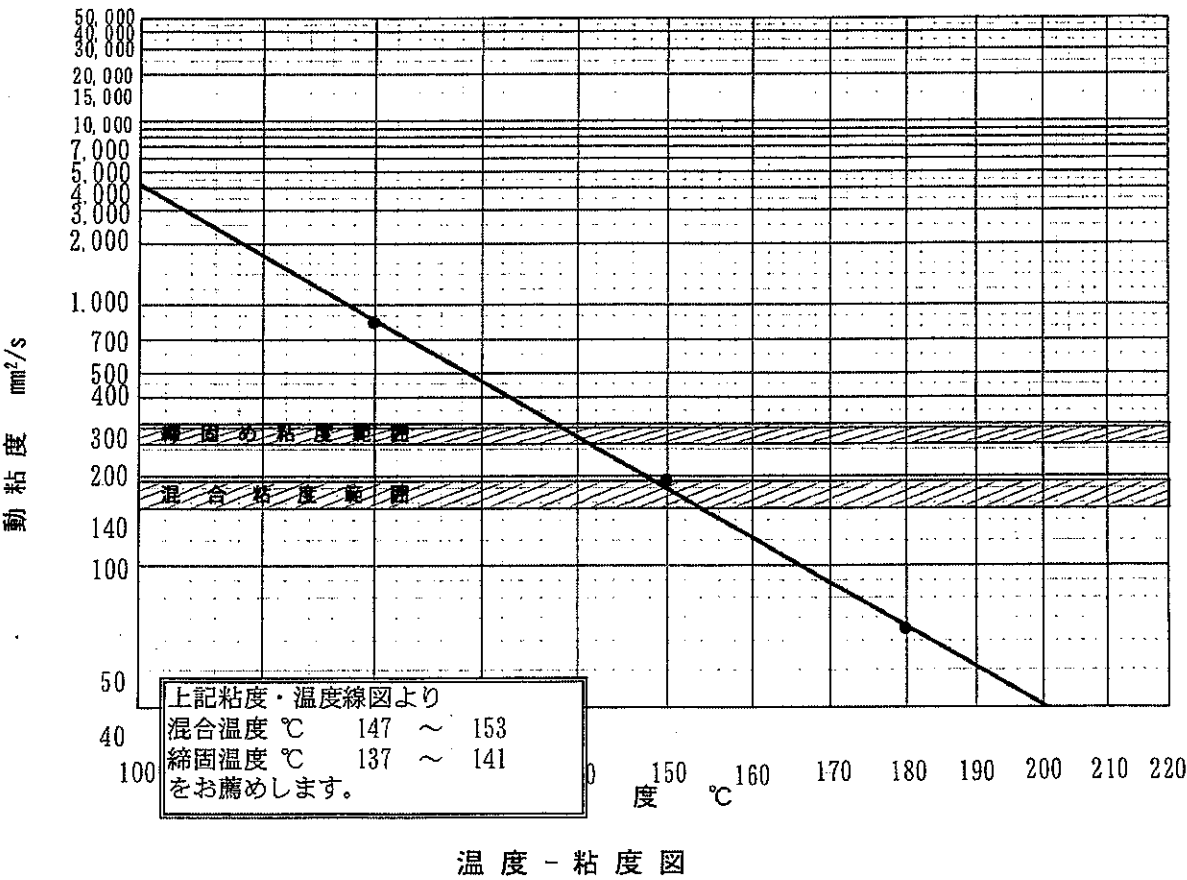


商品名：60-80 ストレートアスファルト

2024年12月分 試験成績表 (代 表 性 状) は、前月実績等を基本に作成しており
お客様に納入する商品の実測値ではありません。

試験項目	数値	JIS規格 (K-2207)
針入度 25℃, 1/10mm	66	60を超え 80以下
軟化点 ,℃	48	44.0 ~ 52.0
伸度 15℃, cm	140以上	100 以上
トリノ可溶分 ,質量%	99.9	99 以上
引火点 COC ,℃	362	260 以上
薄膜加熱 163℃, 5Hr. 質量変化率, 質量%	0.08	0.6 以下
薄膜加熱 163℃, 5Hr. 針入度残存率, %	72.7	55 以上
蒸発後の針入度比	97	110 以下
密度 15℃, g/cm3	1.041	1.000 以上
動粘度 120℃, mm2/s	823	
動粘度 150℃, mm2/s	191	
動粘度 180℃, mm2/s	64.7	

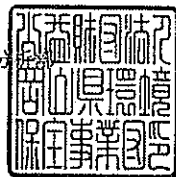
(担当 者 :)



試驗報告書

३३

事業者 公益財団法人岡山県環境保全事業団
事業所 公益財団法人岡山県環境保全事業団環境調査分
〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1
TEL: 086-298-2616 FAX: 086-298-2617
登録番号 岡山県知事登録 第6-1号, 第7-1号
及第8-1号



試験管理者 環境計量士 藤原 由紀



試験の項目	試験の単位	試験の結果	試験の方法
密度	—	2.71	比重瓶法
水分含有率	%	0.01	JIS A5008 3.3.1
熱耐久性	—	変化なし	目視 (200℃, 1時間加熱による変化)
粒度 (通過率 600 μ m)	%	100	JIS A5008 3.3.2
粒度 (通過率 300 μ m)	%	100	JIS Z8815 6
粒度 (通過率 150 μ m)	%	98.1	JIS A5008 3.3.2
粒度 (通過率 75 μ m)	%	88.4	JIS A5008 3.3.2
以下余白			

結果については、現物あたり。

備考

注記 (1) 当団の許可なく、本報告書記載事項の一部のみ複製（変更）することを禁じます。

(2) 試料採取者が公益財団法人岡山県環境保全事業団職員でない場合は、試料採取について当団は一切関わっておりません。

(3) 試験の結果が「未検出」又は「未検出」である場合は、それぞれ検出限界未満又は検出下限値未満であることを示します。

粗骨材の剥離抵抗性試験報告書

試料名 : S-13(6号碎石)

試験日 : 令和 6 年 12 月 6 日

試験場所 : 永瀬産業(株)

試験者 : 田川文男

◇ 骨 材

岩 種 : 硬質砂岩

産 地 : 岡山県真庭市神代

生産会社 : (株)マルケイ

◇ アスファルト

種 類 : ストアス(60-80)

製造会社 : ENEOS株式会社

針入度 : 66

軟化点(℃) : 48.0

180cSt時の温度(℃) : 153

◇ 結 果

評価者名	A	B	C	D	E	平均
剥離面積率 (%)	3	3	3	3	4	3.2

報告値 3 %

粗骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>S-13 (6号)</u> 試験年月日 <u>令和6年12月6日</u> 資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u> 試験者 <u>田川文男</u>			
骨材の最大寸法 <u>13</u> mm 試験時の水温 <u>20</u> °C			
試料番号		1	2
① 表乾重量 (g)		4018.7	4025.9
② 水中重量 (g)		2540.6	2543.7
③ 試量容積 (cm³)	①-②	1478.1	1482.2
④ 表乾比重	①÷③	2.719	2.716
1 平均		2.718	
⑤ 乾燥後の試料重量 (g)		3997.1	4003.3
⑥ 見掛比重	⑤÷(⑤-②)	2.744	2.743
2 平均		2.744	
⑦ 吸水量 (g)	①-⑤	21.6	22.6
⑧ 吸水率 (%)	⑦÷⑤×100	0.540	0.565
3 平均 (%)		0.553	
備考			

粗骨材の比重及び吸水率試験		試験 報告 用紙	
試料名 <u>S-5 (7号)</u> 試験年月日 <u>令和6年12月6日</u> 資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u> 試験者 <u>田川 文男</u>			
骨材の最大寸法 <u>5</u> mm 試験時の水温 <u>20</u> °C			
試料番号		1	2
① 表乾重量 (g)		2033.4	2021.6
② 水中重量 (g)		1279.4	1271.2
③ 試量容積 (cm³)	①-②	754.0	750.4
④ 表乾比重	①÷③	2.697	2.694
1 平均		2.696	
⑤ 乾燥後の試料重量 (g)		2020.6	2008.1
⑥ 見掛比重	⑤÷(⑤-②)	2.726	2.725
2 平均		2.726	
⑦ 吸水量 (g)	①-⑤	12.8	13.5
⑧ 吸水率 (%)	⑦÷⑤×100	0.633	0.672
3 平均 (%)		0.653	
備考			

細骨材の比重及び吸水率試験			試験 報告 用紙	
試料名 <u>粗砂</u> 試験年月日 <u>令和6年12月6日</u> 資料採取場所 <u>日南町花口</u> 試験者 <u>田川文男</u>				
試験時の水温 <u>20</u> °C フラスコの容積 <u>A 500</u> CC				
試料番号		1	2	
① 試料重量 (g)		500.0	500.0	
② フラスコ重量 (g)		152.3	151.1	
③ 試料+フラスコ+水重量 (g)		958.9	957.1	
④ 水の重量 (g)	③-①-②	306.6	306.0	
⑤ 試量容積 (cm ³)	A-④	193.4	194.0	
⑥ 表乾比重	①÷⑤	2.585	2.577	
1 平均		2.581		
⑦ 乾燥後の試料重量 (g)		494.3	494.8	
⑧ 見掛比重	⑦÷(A-④-⑨)	2.633	2.621	
2 平均		2.627		
⑨ 吸水量 (g)	①-⑦	5.7	5.2	
⑩ 吸水率 (%)	⑨÷⑦×100	1.153	1.051	
3 平均 (%)		1.102		
備考				

細骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>細砂</u> 試験年月日 <u>令和6年12月6日</u> 資料採取場所 <u>北栄町(北条砂丘)地</u> 試験者 <u>田川文男</u>			
試験時の水温 <u>20</u> °C フラスコの容積 <u>A 500</u> CC			
試料番号		1	2
① 試料重量 (g)		500.0	500.0
② フラスコ重量 (g)		150.9	152.5
③ 試料+フラスコ+水重量 (g)		958.3	959.6
④ 水の重量 (g)	③-①-②	307.4	307.1
⑤ 試量容積 (cm ³)	A-④	192.6	192.9
⑥ 表乾比重	①÷⑤	2.596	2.592
1 平均		2.594	
⑦ 乾燥後の試料重量 (g)		486.9	486.8
⑧ 見掛比重	⑦÷(A-④-⑨)	2.713	2.709
2 平均		2.711	
⑨ 吸水量 (g)	①-⑦	13.1	13.2
⑩ 吸水率 (%)	⑨÷⑦×100	2.690	2.712
3 平均 (%)		2.701	
備考			

細骨材の比重及び吸水率試験			試験 報告 用紙	
試料名 <u>スクリーングス(SC)</u> 試験年月日 <u>令和6年12月6日</u> 資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u> 試験者 <u>田川文男</u>				
試験時の水温 <u>20</u> °C フラスコの容積 <u>A 500</u> CC				
試料番号		1	2	
① 試料重量 (g)		500.0	500.0	
② フラスコ重量 (g)		152.1	150.9	
③ 試料+フラスコ+水重量 (g)		963.1	962.2	
④ 水の重量 (g)	③-①-②	311.0	311.3	
⑤ 試量容積 (cm³)	A-④	189.0	188.7	
⑥ 表乾比重	①÷⑤	2.646	2.650	
1 平均		2.648		
⑦ 乾燥後の試料重量 (g)		493.5	493.1	
⑧ 見掛比重	⑦÷(A-④-⑨)	2.704	2.712	
2 平均		2.708		
⑨ 吸水量 (g)	①-⑦	6.5	6.9	
⑩ 吸水率 (%)	⑨÷⑦×100	1.317	1.399	
3 平均 (%)		1.358		
備考				



(1/2)
鳥建技第 351104号

骨材試験成績書

郵便番号 717-0023
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地
会社名 (株)マルケイ 様
(依頼者コード = 08070)

令和6年11月1日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年12月2日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	241101001
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-13(6号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241101001	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和6年12月2日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

試験結果

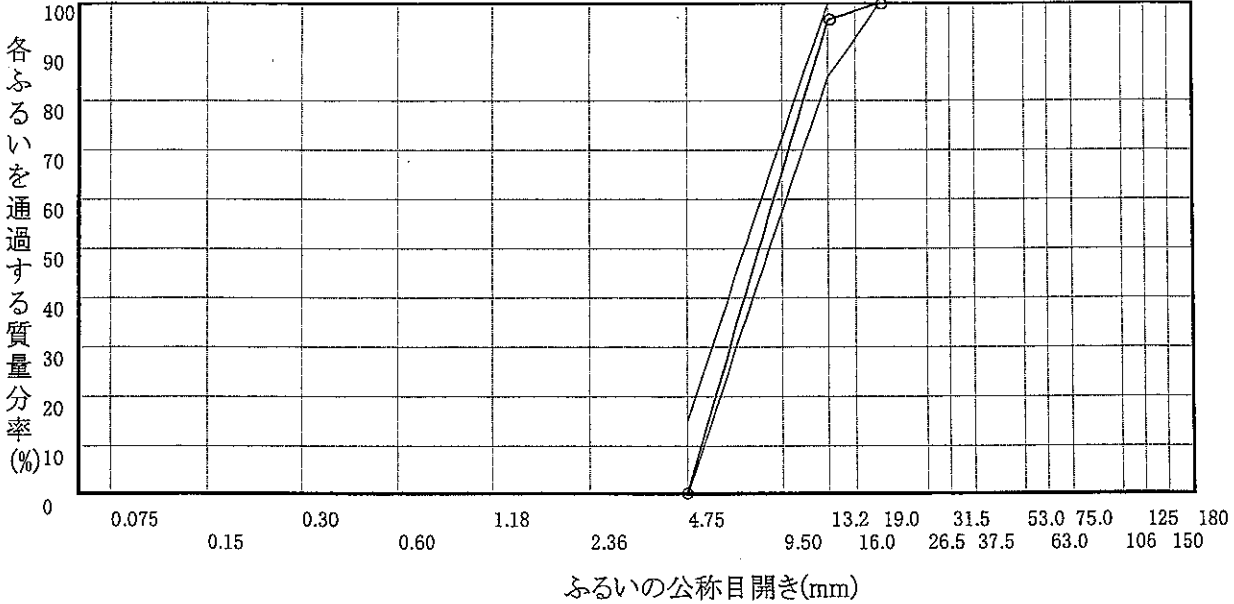
密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.712 g/cm ³
	かさ密度	2.45 以上 2.697 g/cm ³
	見掛密度	2.738 g/cm ³
	吸水率	3.0 % 以下 0.552 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.61 kg/L
実積率 JISA1104:2006		59.7 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 30 % 以下 (*) 12.8 %
安定性 JISA1122:2014		1.5 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		4.1 %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.03 %

ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	96.6
4.75	*	*	0.7
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線





(1/2)
鳥建技第 351105号

骨材試験成績書

郵便番号 717-0023
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地
会社名 (株)マルケイ 様
(依頼者コード= 08070)

令和6年11月1日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年12月2日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	241101001
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-5(7号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241101001	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和6年12月2日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

試験結果

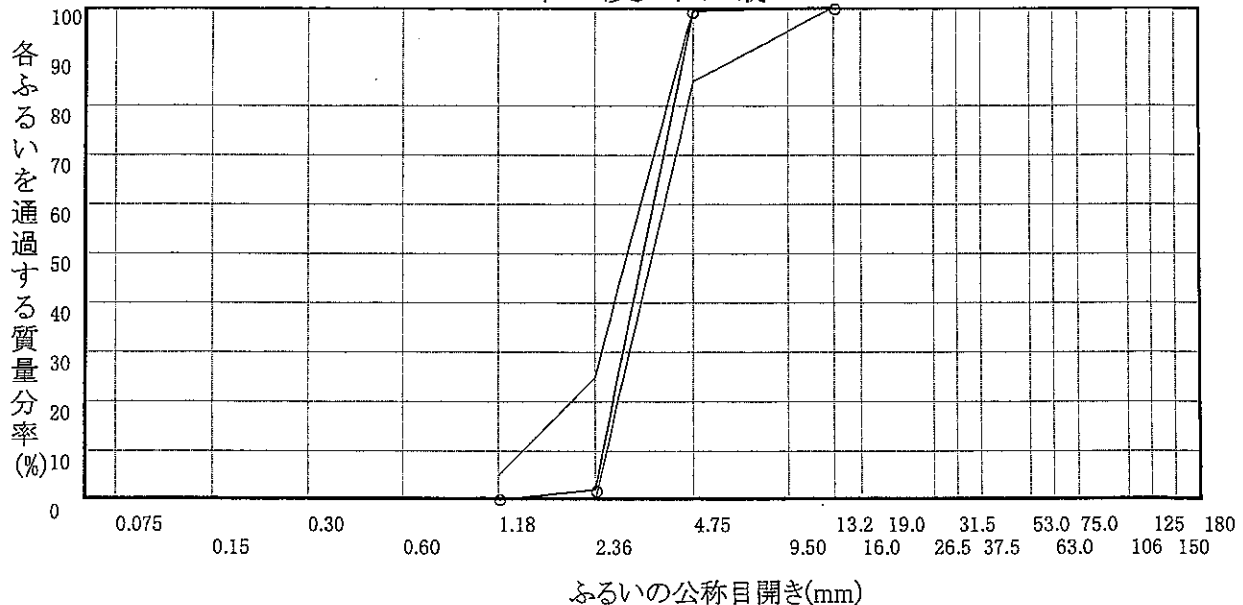
密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.698 g/cm ³
	かさ密度	2.681 g/cm ³
	見掛密度	2.729 g/cm ³
	吸水率	3.0% 以下 0.657 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.55 kg/L
実積率 JISA1104:2006		57.8 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 30% 以下 (D区分) 13.0 %
安定性 JISA1122:2014		0.5 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		0.0 %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.04 %

ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	99.3
2.36	*	*	2.1
1.18	*	*	0.1
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線





(1/2)
鳥建技第 351102号

骨材試験成績書

郵便番号 683-0101
依頼者 所在地 米子市大篠津町3280番地
会社名 永瀬産業(株) 様
(依頼者コード= 00411)

令和6年11月1日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年12月2日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	241101002
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	加工砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241101002	生産地・採取地	日野郡日南町花口
名称等	加工砂	生産者・採取者	生山礦業(株)
試験年月日	令和6年12月2日	試験責任者	大西 慶祐
備考	粗砂		

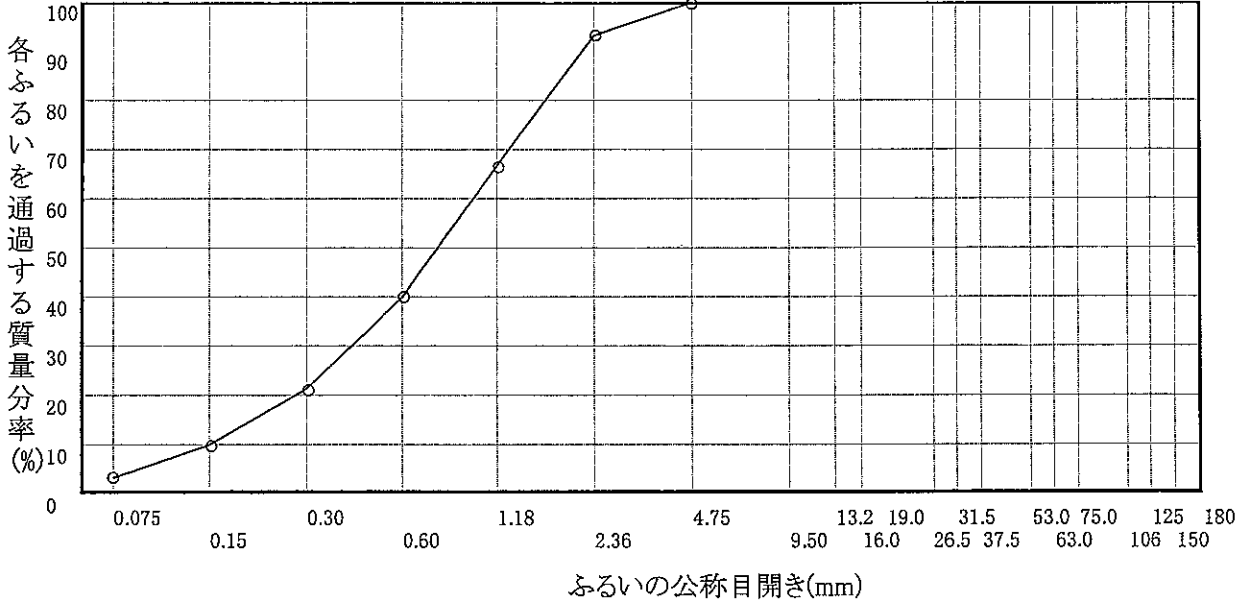
試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.581 g/cm ³
	かさ密度	2.552 g/cm ³
	見掛密度	2.628 g/cm ³
	吸水率	1.131 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.68 kg/L
実積率 JISA1104:2006		65.8 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分(*) * %
安定性 JISA1122:2014		* %
有機不純物 JISA1105:2015		* %
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるい にとどまる 質量分率 (%)	各ふるい を通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	100.0
2.36	*	*	93.3
1.18	*	*	66.7
0.60	*	*	40.1
0.30	*	*	21.5
0.15	*	*	9.9
0.075	*	*	3.4
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線





(1/2)
鳥建技第 351101号

骨材試験成績書

郵便番号 683-0101
依頼者 所在地 米子市大篠津町3280番地
会社名 永瀬産業(株) 様
(依頼者コード= 00411)

令和6年11月1日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年12月2日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	241101002
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	天然砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241101002	生産地・採取地	東伯郡北栄町(北条砂丘)地内
名称等	天然砂	生産者・採取者	(有)永田商事
試験年月日	令和6年12月2日	試験責任者	大西 慶祐
備考	細砂		

試験結果

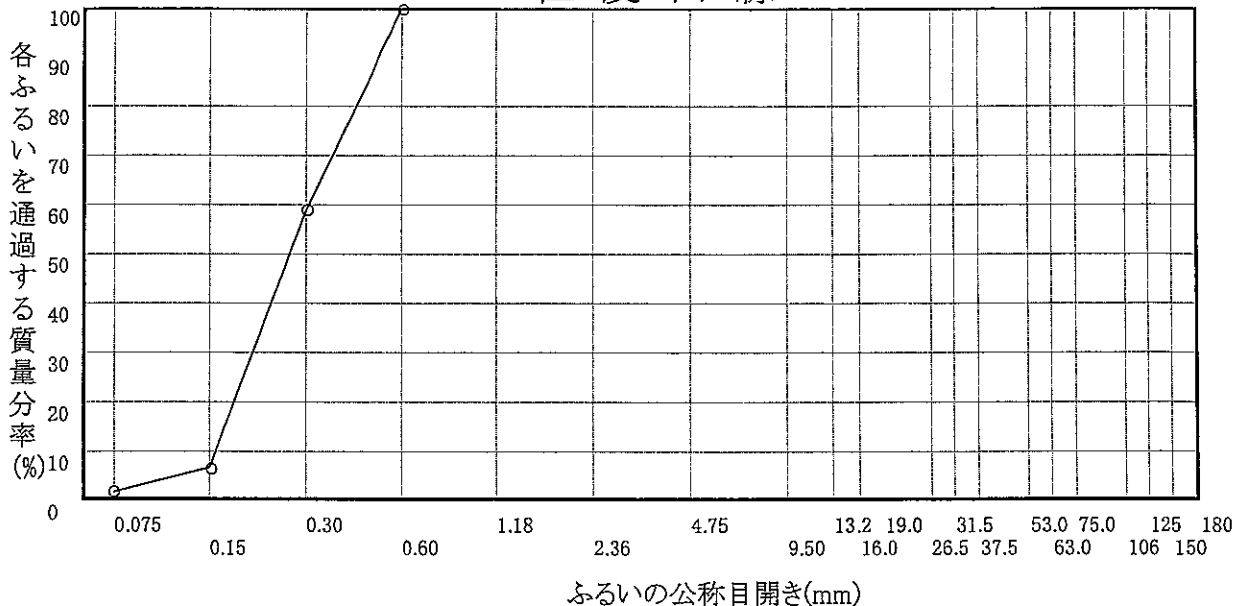
密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.592 g/cm ³
	かさ密度	2.519 g/cm ³
	見掛密度	2.717 g/cm ³
	吸水率	2.892 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.56 kg/L
実積率 JISA1104:2006		61.9 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*) * %
安定性 JISA1122:2014		* %
有機不純物 JISA1105:2015		* %
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるい にとどまる 質量分率 (%)	各ふるい を通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	*
2.36	*	*	*
1.18	*	*	*
0.60	*	*	100.0
0.30	*	*	59.1
0.15	*	*	6.7
0.075	*	*	1.9
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線





(1/2)
鳥建技第 351106号

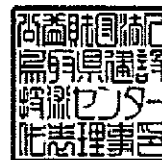
骨材試験成績書

郵便番号 717-0023
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地
会社名 (株)マルケイ 様
(依頼者コード = 08070)

令和6年11月1日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年12月2日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A02-1 A03-1 A15-1
2. 受付番号	241101001
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	スクリーニングス

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241101001	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	スクリーニングス	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和6年12月2日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

試験結果

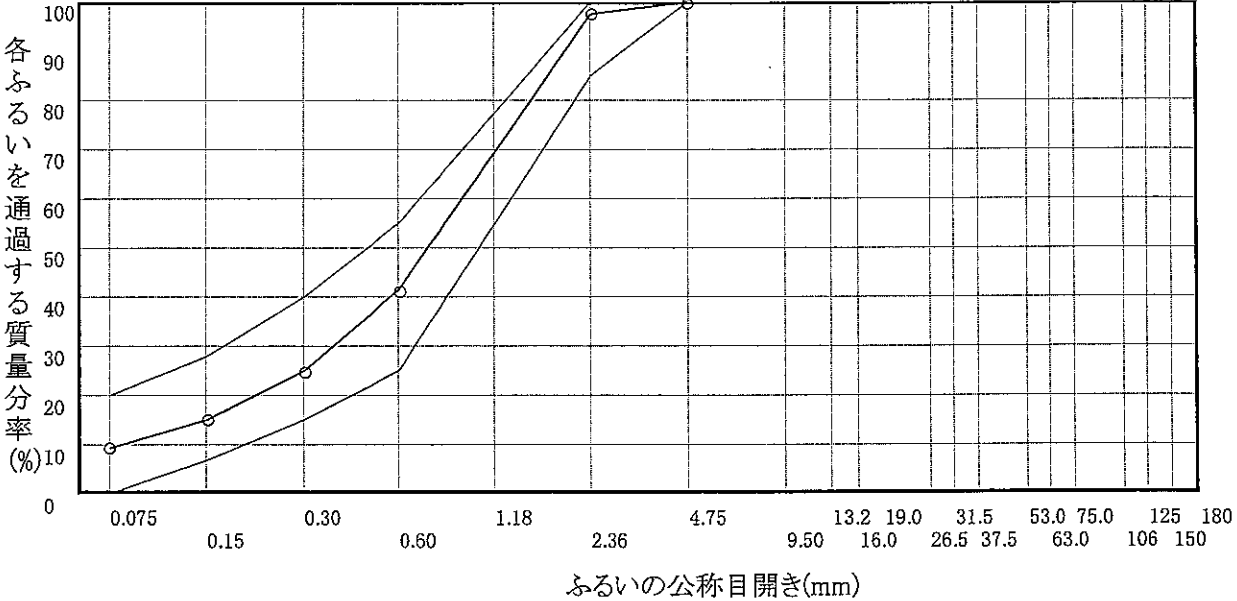
密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.644 g/cm ³
	かさ密度	2.45 以上 2.609 g/cm ³
	見掛密度	2.704 g/cm ³
	吸水率	3.0 % 以下 1.336 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.74 kg/L
実積率 JISA1104:2006		66.7 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*) * %
安定性 JISA1122:2014		* %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	100.0
2.36	*	*	97.6
1.18	*	*	67.9
0.60	*	*	41.4
0.30	*	*	24.9
0.15	*	*	15.2
0.075	*	*	9.5
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要	JIS A 5001: 2008 に準拠		

粒度曲線



力 計 検 査 成 績 書

2024年9月5日

永瀬産業株式会社

御中

最 大 能 力	3 0 k N	検 定 実 施 日	2024年9月5日
器 物 N o .	6 4 0	室 内 温 度	2 2 ℃
ダイヤルゲージ N o .	AVAF86	検 定 担 当	榎本 

検定器 1 0 0 k N	N o . A H E 1 8 0 0 1 7
---------------	-------------------------

平 均 係 数	0.13730
---------	---------

対 数 表

荷 重 (k N)	ダイヤルゲージの読み
0	0
3	2 1 . 6
5	3 5 . 8
8	5 7 . 5
1 0	7 2 . 1
1 5	1 0 8 . 6
2 0	1 4 5 . 6
2 5	1 8 2 . 9
3 0	2 2 0 . 3
—	—

〒536-0011 大阪府大阪市城東区放出西2丁目5番3号

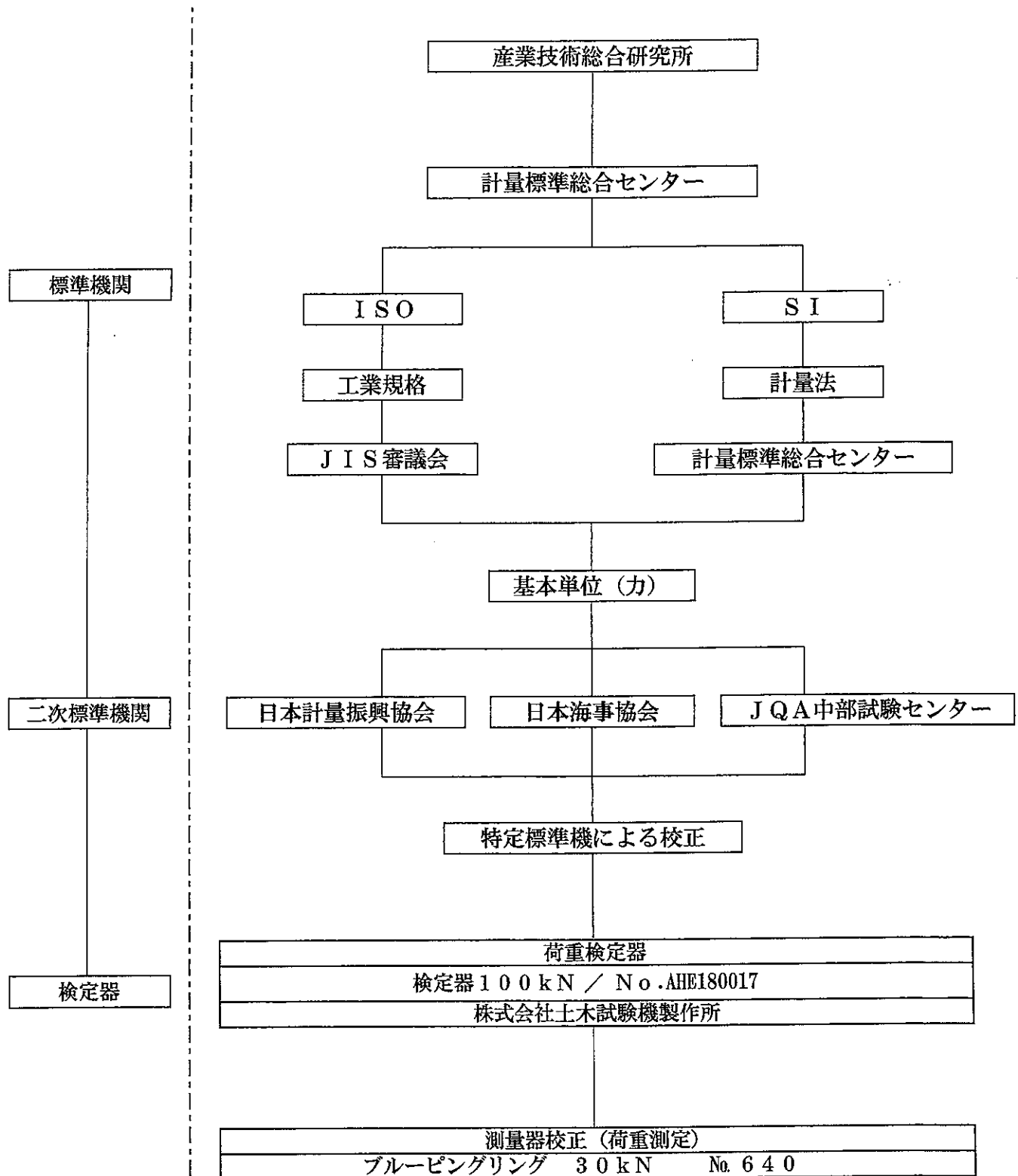
株式会社土木試験機製作所

TEL: 06-6167-4167 FAX: 06-6167-4168

本成績書有効期限: 2026年 9月 迄

※要部修理・交換・改造が成された場合、本書は無効となります。

『力』関係トレーサビリティ体系図



2024年9月5日

〒536-0011 大阪市城東区放出西2丁目5-3
株式会社 土木試験機製作所
TEL: 06-6167-4167 FAX: 06-6167-4168

JCSS
JCSS 0064総数3頁の1頁
証明書番号 53-2371153-2

校 正 証 明 書

依 頼 者 名	株式会社 土木試験機製作所
依 頼 者 住 所	大阪府大阪市城東区放出西2-5-3
計 量 器 の 名 称	ロードセル (圧縮型高精度荷重計)
型 式 及 び 器 物 番 号	CLJ-100KNB (圧縮 100 kN) No.AHE180017
管 理 番 号	DSR-100KN
製 造 者 名	株式会社 東京測器研究所
指 示 装 置 及 び 器 物 番 号	デジタル指示計 PSD-NB No.17340996
管 理 番 号	DSR-100KN-D
製 造 者 名	Mantracourt
校 正 方 法	JQA校正要領書による (文書番号 E534619) - JIS B 7721:2018に準じる
校 正 実 施 条 件	2頁のとおり
校 正 結 果	3頁のとおり
校 正 実 施 年 月 日	2023年6月12日
校 正 実 施 場 所	愛知県北名古屋市沖村五反22番地 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 計量計測課校正室

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2023年6月13日

愛知県北名古屋市沖村五反22番地

一般財団法人 日本品質保証機構

中部試験センター

所 長 田 中



この証明書は、計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。

書面による承認なしに、この証明書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。

当センターは、ISO/IEC 17025:2017に基づく校正機関として認定されています。

校正実施条件

- 1) 校正に使用した参照標準は以下のとおりである。

名 称	油圧式力基準機
校正証明書番号	No.215353
校正年月日	2021年9月21日
型式及び能力	油圧式; 300 kN
器物番号	AKN-01202-1
力の方向	圧縮力
力基準機が発生する校正力の相対拡張不確かさ	
力の範囲	相対拡張不確かさ($k=2$)
3 kN ~ 300 kN	0.023 %
5 kN ~ 300 kN	0.020 %

- 2) 校正は、校正器物に圧縮力を作用させて実施した。
- 3) 予備負荷は校正サイクルの前に3回実施した。
- 4) 第一の校正サイクルでは力を増加および減少させて測定した。第二および第三の校正サイクルでは力を増加させて測定した。
- 5) 予備負荷および各校正サイクル間の待機時間は3分である。
- 6) 指示装置の分解能は、0.1である。
- 7) 力変換器と指示装置の接続ケーブルは、5.2 mの長さである。
- 8) 校正に用いる機器等は、校正を始める0.5時間以上前からすべての校正が終了するまで連続して通電した。
- 9) 校正実施場所の温度、相対湿度、気圧は以下のとおりであった。

温度:	22.8 °C~22.9 °C
相対湿度:	58 %±10 %
気圧:	1005 hPa±1 hPa

以下余白

校正結果

力の方向：圧縮

力 kN	出力値 (内挿校正式 による値)	相対拡張 不確かさ (%)	相対誤差 (参考) (%)			相対分解能 (参考) (%)
			繰返し性	零	往復	
		U	b	f_0	v	a
3	2.9	2.9	0.00	0.00	0.00	3.45
5	4.9	1.7	0.00	0.00	0.00	2.04
10	9.9	0.83	0.00	0.00	0.00	1.01
15	14.9	0.56	0.00	0.00	0.00	0.67
20	19.9	0.44	0.00	0.00	0.00	0.50
25	24.9	0.44	0.40	0.00	0.00	0.40
30	29.9	0.37	0.33	0.00	0.00	0.33
40	39.8	0.27	0.00	0.00	0.00	0.25
50	49.8	0.20	0.00	0.00	0.00	0.20
60	59.8	0.20	0.17	0.00	0.00	0.17
80	79.7	0.13	0.00	0.00	0.00	0.13
100	99.7	0.11	0.00	0.00	—	0.10

内挿校正式

力F(kN)から出力値Xを算出：

$$X = A_0 + A_1 \cdot F + A_2 \cdot F^2 + A_3 \cdot F^3$$

$$A_0 = -9.9070 \times 10^{-2}$$

$$A_1 = 1.0008$$

$$A_2 = -9.0726 \times 10^{-5}$$

$$A_3 = 6.2817 \times 10^{-7}$$

出力値Xから力F(kN)を算出：

$$F = B_0 + B_1 \cdot X + B_2 \cdot X^2 + B_3 \cdot X^3$$

$$B_0 = 9.9025 \times 10^{-2}$$

$$B_1 = 9.9924 \times 10^{-1}$$

$$B_2 = 9.1119 \times 10^{-5}$$

$$B_3 = -6.3342 \times 10^{-7}$$

相対誤差の決定は、JIS B 7721 : 2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項による。

相対拡張不確かさは、信頼の水準約95 %に相当し、包含係数 k は2である。

特記事項：校正品の受領後、ゼロ調整を除き修理及び調整を行わず校正を実施した。

以上